

私たちは文化財をとおりて  
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会  
は設立50周年を迎えました

季刊

みる・きく・ふれる 文化財

# おうみ文化財通信

vol. 57

Information of Cultural Heritage in OHMI

2023 Autumn

【調査速報】首長たちを支えた人々のムラ!? - 近江八幡市御館前遺跡 -

【大学実施調査支援紹介】米原市事業（立命館大学実施）支援事業  
「杉沢遺跡」

【県内市町事業支援紹介】彦根市支援事業  
「福満遺跡」

【文化財保護資金・活用資金貸付事業紹介】  
～お困りの際はご検討ください！～

【お知らせ】2023年10月～12月 催物案内



【調査速報】

## 首長たちを支えた人々のムラ!?

おうみ はちまんし みたちまえ  
— 近江八幡市御館前遺跡 —



2023年度の調査で発見された古墳時代中期～後期の竪穴建物群（白線の部分が建物）

(写真提供：滋賀県)

当協会では、滋賀県東近江市土木事務所が計画する近江八幡竜王線道路整備事業に伴って、御館前遺跡の発掘調査を、2022年度から実施しています。

今回の調査範囲である近江八幡市千僧供町地先では、平野部に古墳時代中期～後期（約1500～1400年前）頃の、この地域の首長たちの墓である古墳が十数基築かれていま

す（千僧供古墳群）。一方、付近には同時期の集落はほとんど見つかっていませんでした。

2023年度の調査では、鎌倉時代（約800年前）の建物5棟が見つかったほか、さらに古墳時代中期後半～後期の竪穴建物8棟が発見され、周辺の古墳群との関わりをうかがわせる貴重な事例となりました。

### ●古墳時代中期後半～後期の竪穴建物

調査で見つかった古墳時代の竪穴建物は、平面形状が方形です。規模は、ほとんどが一辺 5～6m程で、一辺 3.5～4m程度の小ぶりなものや、8mを超える大型のものも数棟みられます。

また、これらには中央付近に炉を持つものと、建物の壁際にカマドを造りつけるものがあります。

これらの建物からは、土器のほかに、当時の装身具である玉類（滑石製白玉）や、糸を紡ぐ道具である石製紡錘車などが見つかりました。

### ●建て替えられた竪穴建物

このうち1棟は古墳時代後期の一辺 6m程の建物で、内部に屋根を支える柱を据えるための柱穴が4箇所検出されました（写真1）。

詳しく見ると、この柱穴は、1箇所ですべて2基以上が隣り合ったり、重複して認められたので、2回以上建て直されたようです。

### ●カマドの支脚に高坏を転用する竪穴建物

竪穴建物のカマドは、後世の耕作などによって削られてしまったと考えられ、上部はほとんど残っていませんでしたが、下部がかろうじて残されているものもありました。



写真3 カマド支脚に転用された土器（高坏を逆にした状態の杯部）

### ●五角形竪穴建物

2022年度の調査では、弥生時代後期（約1,800年前）の竪穴建物5棟、古墳時代後期の竪穴建物4棟、鎌倉時代の掘立柱建物2棟などが発見されました。

弥生時代の建物のうち1棟は、平面形状が五角形で、平面規模は最大幅が約8m、中央付近に円形の炉をそなえています。

五角形を含む多角形竪穴建物は、滋賀県内では南東部を中心に20例ほど確認されています。



← 当協会ホームページからも、詳細資料をご覧ください。

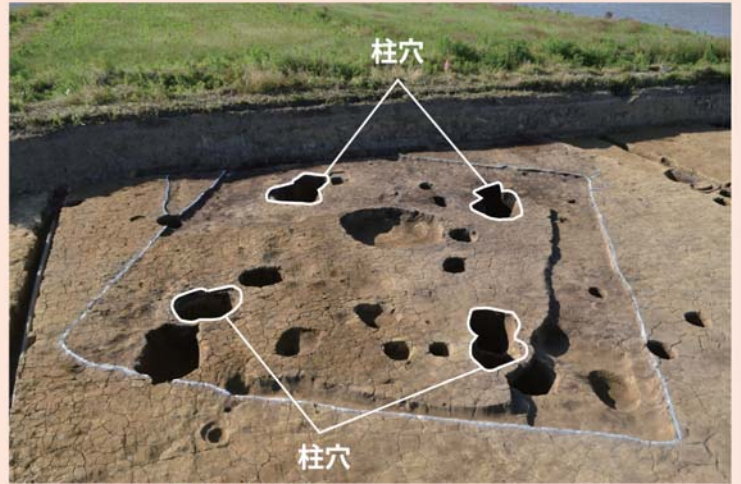


写真1 建て替えられた竪穴建物

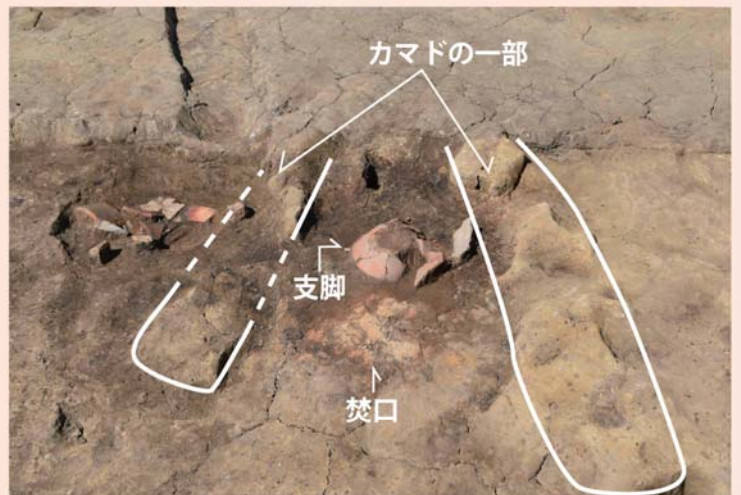


写真2 竪穴建物の壁沿いに造られたカマド

このなかには、カマドに掛けた甕などの煮沸用容器を底（火床）から浮かせた状態で固定するため、高坏を逆さに転用して用いる例もみられました（写真2・3）。



写真4 弥生時代後期の五角形竪穴建物

(写真提供：滋賀県)

# 「杉沢遺跡」～合せ口甕棺の接合・復元～

当協会では、大学による調査のお手伝いもしています。2022 年度には、米原市が調査主体となり、立命館大学が実施した米原市杉沢遺跡の整理調査をサポートさせていただきました。

遺跡の調査は、現地の発掘調査終了後、発見された遺構・遺物を詳しく分析するなどの整理調査を行い、「発掘調査報告書」を刊行して、市民の皆さんに成果を還元します。出土した遺物は、洗浄したうえで、接合・復元し、さらに図化し、図を作成して、遺構の情報とともに報告書にまとめます。今回お手伝いしたのは、立命館大学の行う米原市杉沢遺跡の整理調査のうち、「遺物の接合・復元」の工程です。

杉沢遺跡は、JR 米原駅の北東にそびえる県内最高峰の伊吹山のふもとにある縄文時代の遺跡です。明治時代から石器が出土することで知られ、昭和 13 年（1938 年）には当時京都帝国大学助手の小林行雄氏らによって、発掘調査が行われました。

調査では縄文時代晩期（約 2,500 年前）の「合せ口甕棺」が見つかり、これまで弥生時代の葬法と考えられていた合せ口甕棺墓が縄文時代にもあったことが明らかになりました。



調査風景（昭和 13 年）

（写真提供：米原市）



合せ口甕棺（平成 15 年調査出土）（写真提供：米原市）



御物石器（写真提供：米原市）

出土遺物の一部は伊吹山文化資料館で展示されています。また「御物石器」「多頭石斧」は、当協会が管理している県の施設「琵琶湖文化館」に収蔵されています。



\*"あきつブログ"でも紹介。→



2011 年から米原市と立命館大学による継続的な発掘調査が行われ、今回の整理調査となりました。

土器棺は大きくてバラバラの状態でしたので、初めて接合・復元をする学生さんには、なかなか難関です。そこで、学生さんが学びながら作業や知識を身に付けていただけるように、当協会が技術的な面でサポートをさせていただきました。



甕棺の接合・復元作業（右から 2 人目が菅井さん）

◇作業に参加した同大学の菅井佳穂さんは「博物館に展示されている接合・復元済みの土器を見て、自分ですぐできると思っていたのですが、実際に作業してみると、破片の山に途方に暮れ、接合してもうまく形にならず、土器に対する専門的知見と接合・復元のための高いスキルが必要であることを実感しました。実際に作業しながら具体的な指導と細やかなサポートを受けて、大変勉強になり、ひとまわり成長できたと実感しています。有意義で、楽しい時間でした。温かく見守ってくださった皆さん、ありがとうございました！」とのこと。菅井さんは現在、同大学院考古学・文化遺産専修 2 回生。応援しています。

当協会は、作業の一括支援だけでなく、工程の一部のみでもお引き受けします。また、この例のように、一緒に作業をすることで、技術を身に付けていただく育成サポートも行っています。



当協会 HP

【県内市町事業支援紹介】  
「福満遺跡」彦根市支援事業（彦根市新市民体育センター建設工事に伴う発掘調査 10,500 m<sup>2</sup>・整理調査）

福満遺跡は彦根市に所在し、滋賀県東部を流れる犬上川下流域の右岸に位置します。当協会では彦根市から事業を受託して、2017～2018年度に発掘調査(10,550 m<sup>2</sup>)を行い、2019年度から整理調査を行っています。



彦根市福満遺跡 7世紀の総柱建物跡 (写真提供：彦根市)

発掘調査では縄文時代～室町時代の建物や溝などの遺構・土器や木製品などの遺物がみつきり、令和5年度にはこれらの調査成果をまとめた、発掘調査報告書を刊行する予定です。

当協会では、ほかにも市町や民間事業者さんの調査をお引き受けしており、発掘調査・整理調査・普及事業など、小規模なものから大規模なものまで、幅広く対応しています。

【近年の市町事業の支援例】\*「発掘」：発掘調査・「整理」：整理調査、()内最初の数値は年度。  
敏満寺遺跡(2021発掘 777 m<sup>2</sup>・整理/多賀町)、榊差・黒土遺跡ほか(2020～2021発掘 2,919 m<sup>2</sup>・整理/草津市)、近江国府(2020～2021発掘 3,316.74 m<sup>2</sup>・整理/大津市)、南滋賀遺跡(2023発掘 617.85 m<sup>2</sup>・整理/大津市)、横江遺跡(2023発掘中/守山市)など。



【文化財保護資金・活用資金貸付事業紹介】  
～お困りの際はご検討ください！～



After  
\*詳細はお問い合わせください。  
当協会HPでもご覧いただけます。

当協会では、文化財の保護と活用にかかる資金の貸付事業を行っています。

県内に所在する文化財の所有者さんや保存・活用団体さんで、文化財の修理や活用事業をされる時、スムーズに実施できるよう、資金の貸付事業を通してサポートします。

\*文化財の修理事業などに伴う「文化財保護資金」の貸付上限額は1,000万円、文化財を生かした事業に伴う「文化財活用資金」の貸付上限額は300万円です。

\*通年受け付けていますが、審査会の都合上、第1回受付締切：5月末(7月頃貸付決定)、第2回受付締切は：10月末(12月頃貸付決定)となっています。

【お知らせ】2023年10月～12月  
催物案内

◆滋賀県立安土城考古博物館主催事業◆ 問合せTEL：0748-46-2424 \*入館は16:30まで。

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
10/7(土)～11/19(日)	9:00～17:00	展示	秋季特別展「馬でひも解く近江の歴史」	無	不要	特別展料金	当館 特別展示室
10/8(日)	13:30～15:00	講座	秋季特別展記念講演会「東アジアからみた古代近江の馬文化」 講師：諫早直人氏(京都府立大学)	100名	要	1000円	当館 セミナールーム
10/21(土)	13:30～15:00	講座	「馬駆ける近江-考古資料から見た近江の古代-」 講師：辻川哲朗(滋賀県文化財保護協会)	100名	要	300円	当館 セミナールーム
10/21(土)～11/19(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列「『安土・八幡山下町中掟書』修理記念特別公開」	無	不要	入館料	当館 第2常設展示室
10/21(土)～11/26(日)	9:00～17:00	展示	でかける博物館 in 安土城考古博物館「一須賀古墳群の馬具」	無	不要	入館料	当館 望楼下ホール
10/22(日)	9:45～12:30	探訪	城郭探訪「安土城跡」	20名	要	1000円	安土城跡
10/29(日)	9:45～16:00	探訪	城郭探訪「観音寺城跡と桑賣寺」	10名	要	1000円	観音寺城跡・桑賣寺
11/22(水)～1/14(日)	9:00～17:00	展示	特別陳列「3世紀の靱-稲部遺跡出土の矢入れ具-」	無	不要	入館料	当館 望楼下ホール
12/9(土)	13:30～15:00	講座	特別陳列関連講座「3世紀の靱-彦根市稲部遺跡出土の矢入れ具-」 講師：戸塚洋輔氏(彦根市観光文化戦略部文化財課)	100名	要	300円	当館 セミナールーム

◆滋賀県立琵琶湖文化館主催事業◆ 問合せTEL：077-522-8179 \*現在休館中につき、他館での開催となります。

日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
10/7(土)～11/19(日)	9:30～17:00 (入館～16:30)	展示	地域連携企画展「千年の秘仏と近江の情景」	無	不要	常設展料金	滋賀県立美術館(大津市)
10/26(木)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ第5回「秘仏 正福寺大日如来坐像と湖南・甲賀地域の仏像」 講師：和澄浩介(県立琵琶湖文化館)	140名	要	無料	コラボしが21(大津市) *サテライト会場有
11/3(金)～11/12(日)	9:00～16:00	展示	地域連携企画展「成菩提院 寺宝展」	無	不要	入山料	成菩提院(米原市)
11/16(木)	14:00～15:30	解説付鑑賞会	花湖さんの打出のコツ第6回「千年の秘仏と近江の情景」展を楽しむ 講師：和澄浩介(県立琵琶湖文化館)・山口真有香氏(県立美術館)	40名	要	観覧料	滋賀県立美術館(大津市)